ラジオ波焼灼術(RFA) (GAS010)

	FA)(GA							
ップ名称			治療当日			10.21		術後3日目
		1日前				1日後	2日後	3日後
			■合併症の症状・所見がない ・出血がない ・背部痛がない	手術中	手術後	■合併症の症状・所見がない ・出血がない	■合併症の症状・所見がない ・出血がない	■合併症の症状・所見がない ・出血がない
者状態			■発熱がない・体温【適正値: ≦38.0°C】■疼痛のコントロールができている	できる				■発熱がない ・体温【適正値:≦38.0°C】 ■疼痛のコントロールができてい が・鎮痛処置により疼痛を緩和する できる
理		■検査について理解できる ・説明内容に疑問・不信感の表出がない	■治療について理解できる ・床上で安静が守れている					
			点滴をします	注射があります	点滴をします	点滴をします		
					心電図モニター、指に酸素濃度モ	/		
					ニターをつけまり			
,		適宜、検温を行います	検査前に、検温を行います		帰室3時間後まで1時間毎に検温します	適宜、検温を行います	⇒ 適宜、検温を行います	⇒ 適宜、検温を行います
		休止薬以外の内服薬は今までのも のを続行して下さい。	★ 休止薬以外の内服薬は今までのものを続行して下さい。		3時間床上安静です その後トイレはいけます	トイレ洗面のみ行けます	病棟内は自由です	病棟内は自由です
指示			12時まで水分摂取できます					
			STATE OF THE STATE		必要時、酸素を流量します			
					医師の指示で抗凝固薬・抗血小板 剤以外の内服再開となります			
対症指示								
検体検査		必要に応じて、採血を行います				必要に応じて、採血を行います		
生理検査		必要に応じて、心電図検査を行い ます						
放射線その他		必要に応じて、胸部レントゲン検 査を行います		通常午後、ラジオ波を行います				治療効果判定のため腹部CT ます
		自宅で入浴してきてください	午前中に清拭ができます			全身清拭できます	全身清拭できます	シャワー浴できます
	清潔		検査着に着替えます					
日常生活ケア	Labora	► トイレに行けます	○ トイレに行けます		▶ 3時間はベッド上にて排泄です	▶ トイレに行けます	▶ トイレに行けます	▶ トイレに行けます
					その後トイレに行けます			
	その他	クリニカルパスの説明をします	クリニカルパスの説明をします		クリニカルパスの説明をします	クリニカルパスの説明をします	クリニカルパスの説明をします	クリニカルパスの説明をし
		検査・治療承諾書の確認をします	指輪・コンタクトレンズ・義歯などをはずします					医師の指示で抗凝固薬・抗 剤の再開となります
指導・教育		方は、休薬されているが確認します						
		入院までに爪は短くしてきてくだ						
観察		適宜、症状の観察を行います	⇒ 適宜、症状の観察を行います	意宜、症状の観察を行います	適宜、症状の観察を行います	適宜、症状の観察を行います	⇒ 適宜、症状の観察を行います	⇒ 適宜、症状の観察を行いま
その他		常食です	朝は常食です	絶食です	夕食から常食です	常食です	常食です	常食です
		<u> </u>	その後は絶食です	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	
I DEC AT								
医師 看護師								
医師 看護師 コメディカル								
	理	理	□ 日前 □ 身体的準備ができている ・技会値が許容範囲である ・抗血小板剤・抗凝固剤が予定通り中止されている ・抗血小板剤・抗凝固剤が予定通り中止されている ・抗血小板剤・抗凝固剤が予定通り中止されている ・説明内容に疑問・不信感の表出がない □ 機会をについて理解できる ・説明内容に疑問・不信感の表出がない ・説明内容に疑問・不信感の表出がない が 大雄指示 検体検査 生理検査 必要に応じて、採血を行います を要に応じて、心電図検査を行います を要に応じて、心・電図検査を行います を要に応じて、・心・電図検査を行います を要に応じて、・心・電図検査を行います を変ます。 ・ おりに行けます ・ イレに行けます ・ ・ 治療承諾書の確認をします ・ 対方は、休養・治療承諾書の確認とします ・ たん院ままでに代ば短くしてきてください。 ・ これの概算を限用中のます ・ たん院ままでに代ば短くしてきてください。 ・ これの概算を行います ・ たんださい。 ・ これの概算を行います ・ たんださい。 ・ これの概算を表現用中のます ・ たんださい。 ・ これの概算を表現用中のます ・ たんださいを表現にている。・ たんださい ・ これの概算を表現にはなる。・ たんださい。 ・ これの概算を表現にはなる。・ たんださいを表現では、でにださいを表現では、でにない。 たんださい たんだい たんだい たんだい たんだい たんだい たんだい たんだい たんだ	■ 身体的準備ができている ・技術技術等範囲である ・技術技術等範囲である ・技術技術等範囲である ・技術技術等範囲である ・技術技術等範囲である ・技術技術等範囲である ・技術はない ・ を指すない。 ・ を表している ・ 機力を担かない ・ 体温 (適三度 三 598.0℃] ・ 機力を指することが ・ 説明内容に疑問・不信感の表出がない ・ 東上で安静が守れている ・ 説明内容に疑問・不信感の表出がない ・ 東上で安静が守れている ・ 記明を含むます ・ 記明の内限素は今までのも のを続行して下さい。 ・ こ時までお分摂取できます ・ 必要に応して、探血を行います ・ なんを持つして下さい。 ・ こりまで大分摂取できます ・ 必要に応して、同節レントゲン検 を変に応して、胸部レントゲン検 を変に応して、胸部レントゲン検 を変に応して、胸部レントゲン検 を変に応じて、胸部レントゲン検 を変に応じて、胸部レントゲン検 を変に応じて、胸部レントゲン検 を変に応じて、胸部レントゲン検 を変に応じて、心を図検査を行います ・ から表に応じて、胸部レントゲン検 を変にないます ・ がなが表す ・ は返します ・ がなが表す ・ はないを表す ・ はない	日前 1日前 1日前	1日前 本事性 子前体 子前	1月前 1月	日本 1月後 1月は 1月は

ラジオ波焼灼術(RFA) (GAS010)

ステップ名称	尭灼術(R∣	•	術後4日目	
		4日後		
			■合併症の症状・所見がない ・出血がない	
患者状態			■発熱がない ・体温【適正値:≦38.0℃】 ■疼痛のコントロールができている ・鎮痛処置により疼痛を緩和することが	
知識・教育・理 解			■日常生活の注意点について理解できる ・退院後の日常生活のわからないことを 聞くことができる	
 投薬				
注射				
	処置			
	指導			
			☆ 適宜、検温を行います	
医師	指示		病院内自由です	
	対症指示			
	検体検査		/ 必要に応じて、採血を行います	
₩ *	生理検査			
検査	放射線			
	その他			
輸血				
手術			▶ 入浴できます	
		清潔	Na Cesy	
	日常生活ケア	排泄	トイレに行けます	
		その他		
			クリニカルパスの説明をします	
看護	11c 12c 111 - 1c			
	指導・教育			
			■ 適宜、症状の観察を行います	
	観察		☆ 適宜、症状の観察を行います	
	その他		***	
食事			常食です	
栄養指導				
リハビリ				
文書	医師			
カルテ	看護師 コメディカル			
コメント				